

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年5月8日
作成 高齢者支援センター	忠生第2
作成者	井田 美喜子

1.開催日時	2024年4月25日	(木)	18:00	～	19:00
2.会場	オンライン開催				
3.主催センター	忠生1	・	忠生2	・	
4.参加人数	16人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター	8人	<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター	1人	
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者	1人	(うち、医師	1人)	<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者
	<input type="checkbox"/> 民生委員	人	<input type="checkbox"/> 老人会	人	<input type="checkbox"/> 住民
	<input checked="" type="checkbox"/> 町内会自治会	1人	<input type="checkbox"/> 警察	人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(障がい者関係 1人)			
6.開催テーマ	支え合いの町忠生「災害と感染症の中での私たちの暮らし」				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>2023年度は災害時に地域でできる自助、共助について検討を重ねてきた。全体的に見るとまだまだ意識が低く備えを実行していない現状がある。継続して、広くいきわたらせるためにはどのようにしたらよいか検討する必要がある。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>災害時に行政の支援が届かないであろう72時間を、地域住民がどのように行動したら生活を継続できるのか。</p>				
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3月16日に開催された本会議の振り返り。 ・本会議の内容に関して、地域に向けた発信方法について検討。昨年度同様にチラシを作成し、自治会・町内会で回覧・配布してもらおう。併せてお薬手帳に入れられるサイズで、災害時に必要な物品の一覧を作成し配布してはどうか。災害時に備えて平常時にいつも服用している薬を2週間分くらいストックしておく必要があるが、そのことをかかりつけ医に伝えるツールとしても活用できるのではないか。 ・2024年度のテーマについて意見集約。 <ul style="list-style-type: none"> 1)地域との防災訓練。 2)災害を想定して具体的なシュミレーションを行う。 3)自助について検討を重ねてきたので、共助のあり方について検討、等の意見が出た。上記の意見を踏まえて、西村医師も含めテーマ決めを行う。 ・実行委員会の持ち方、参加メンバーについて。 <p>本会議には調剤薬局からの参加があるが実行委員会には参加がないため、今までに参加があった調剤薬局へ参加を依頼していく。開催頻度は基本的には隔月開催。</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>本会議で話し合われた内容を多くの地域住民に知っていただき、地域住民が災害時の「自助の備え」を行うことができるよう、チラシとお薬手帳サイズの一覧を作成する。</p> <p>地域住民からは、「災害時に公的な事業所の専門職はいつ頃から地域住民と接点を持ち、支援をもらえるのか」という声が聞かれた。今後も自助力、共助力が高まるようにテーマを絞って話し合いを重ねていく。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

5月 7日